

令和3年度 第2回視聴覚センター運営委員会（書面開催） 協議結果

○通知発送日：令和4年3月14日（月）

○協議期限：令和4年3月28日（月）

○委員：勝木 清隆 委員  
金柁 純子 委員  
斎藤 結 委員  
下村 貞之 委員  
高橋 利華 委員  
豊田 まゆみ 委員  
中松 依子 委員  
日比野 和雅 委員（五十音順）

○協議事項

『視聴覚センターのPR手法や各事業の改善点，他団体との連携方法等について各お立場からの御意見』『その他の御意見』

○協議事項詳細

京都市の財政状況がひっ迫しており，現状のままでは令和8年度に「財政再生団体」に転落する可能性があると言われている。外部有識者会議の「京都市持続可能な行財政審議会」においても，市長の諮問に応じ，持続可能な行財政の確立に向けた歳入及び歳出の構造等の改革について審議され，令和3年3月に提出された答申を踏まえ京都市全体で様々な改革が取り組まれている。

令和2年度第2回京都市視聴覚センター運営委員会（令和3年2月8日開催）において，視聴覚センターについても，これまで以上の経費削減が求められ，今後の事業費削減計画と事業集約等について説明し御意見を伺ったところである。

今回の書面開催にあたっては，令和3年度に初めて委員となられた方にもこの資料を共有し，これらの状況の中で視聴覚センターの各事業の改善点や市民等へのPR方法，他団体との連携等について，各委員それぞれのお立場からの御意見を伺いたいと考えている。

また，それ以外の御意見についても，広く伺って今後の知見としたい。

○協議結果（協議事項に対する意見等）

意見 アスニーシネマのPRについて，より多くの市民にアスニーシネマの開催を知ってもらうため，ポスターやチラシによる掲示をさらに増やすことを提案する。ポスターやチラシが市民の目に触れる機会を増やし，興味を持ってもらう

ことが重要である。

意見 市民がよく利用する図書館や区役所、児童館などにアスニーシネマのポスターを掲示すると同時に、チラシを手にとれるようにすることで、アスニーシネマを広く周知し、身近に感じてもらえると考ええる。

意見 SNSを活用し、よりリアルにアスニーシネマを知ってもらうことを提案する。ポスターやチラシより詳しい内容を発信し、さらに深く興味を持ってもらうことが目的である。SNSを利用している市民には手軽に情報を得る手段になると考える。例えば、Twitterなどを用いて上映する映画の説明や今後の上映予定を発信する。

意見 コロナ禍で集まっての会議が難しいこともあるが、年間を通しての事業の計画、詳しい内容の改革などをZoom会議や書面などでも詳しく事前に知る事ができれば、幼稚園の単位PTAの会議での話し合いで取り上げたり、いろいろな保護者の声も広く聞くことができ、またアスニーこどもコンサート・キッズシネマ・アスニーシネマ・バリアフリー映画会についてもアピールできたのではないかと思う。

意見 コロナ禍でありながら、アスニーこどもコンサート、キッズシネマ、アスニーシネマにおいて、市民のニーズがあることも感じられた。土曜日の開催が主だと思うが、乳幼児の保護者は平日の子どもの遊び場・学びの場を求められている。特に梅雨や夏、冬の時期の平日の開催もあればいいと思う（児童館や図書館にフライヤーを配布するなど）。

意見 近年はパソコン・タブレットといったツールが主となり、手軽にYouTubeなどでいろいろな動画が配信されており、コロナ禍で集まる機会もないことから、すでにご検討されている視聴覚ライブラリーにおいてはニーズはあまり感じられないように思う。

意見 視聴覚センター事業のうち、視聴覚ライブラリーは、学校・社会教育ともに有益な視聴覚教材が保管されている。しかし、視聴覚ライブラリーシステムそのものの更新ができないため、どのようにしていくか継続して検討していく必要がある。

保有するソフト類を整理するにしても、だれがどんな基準で整理していくのか難しいと感じている。

例えば、学校現場で導入されている図書館ナビのような簡易なシステムで運用ができるのかも一考の価値があるのではないか。

しかし、システムが簡易になったとしても、貸出業務を担当して下さる人員が必要である。ただ、視聴覚ライブラリーそのものを終了させてしまうのは、大きな財産でありもったいなく感じている。